

NEWS RELEASE

No. 11-20

2012年2月16日

(公財)損害保険事業総合研究所

損保総研レポート第98号を発刊し、以下の2つのレポートを掲載しました。

- ◆ IAIS の保険規制・監督基準の動向について
—保険グループ規制・監督を中心にして—
- ◆ ニュージーランドの地震保険

公益財団法人 損害保険事業総合研究所（理事長 濱 筆治）では、研究員による調査研究の発表の場として機関誌「損保総研レポート」を定期刊行しています。

今号（第98号）では、次のとおり研究員2名のレポートを掲載するとともに、他に海外の金融・保険市場の動向等を紹介しています。

<レポート>

- ◆ 『IAIS の保険規制・監督基準の動向について
—保険グループ規制・監督を中心にして—』

（金田 幸二 主席研究員）

2008年のグローバル金融危機以降、G20首脳会議を中心とした国際的な金融規制改革推進体制が構築され、その中で、保険監督者国際機構（IAIS）が策定する保険規制・監督の国際基準は、G20各国が国際公約としてその実施に責任を負う実質的な世界標準となっています。また、金融危機を契機として、国際的な金融・保険グループの規制・監督のあり方が問題になっています。

本稿では、IAISの概要および金融危機後の経緯を説明するとともに、IAISが2011年10月に採択した保険基本原則（コア・プリンシプル）の概要を紹介しています。その上で、2011年7月に検討案が公表され、今後数年かけて策定される国際的に活動する保険グループの規制・監督基準である共通フレームワーク（通称、コムフレーム）の主要規定案を説明しています。また、G20の下で金融安定化理事会（FSB）で策定されている金融システム上重要な金融機関（SIFIs）に対する政策方針とSIFIsの認定の動向、および2011年11月に公表されたIAISによる保険事業とシステムミック・リスクの関係等に関するレポートの概要を説明しています。

- ◆ 『ニュージーランドの地震保険』

（佐川 果奈英 主任研究員）

昨年わが国では東日本大震災が発生しましたが、わが国と同様に地震リスクの非常に高い国であるニュージーランドにおいても、昨年2月にカンタベリー地方で大規模な地震が発生しました。このカンタベリー地震では、建物の倒壊や液状化が発生し、181名が亡くなる惨事となりました。

ニュージーランドでは、第二次世界大戦中に公的な地震保険が整備され、カンタ

ベリ地震においても地震保険は重要な役割を果たしています。

本稿では、ニュージーランドにおける地震保険制度の概要、カンタベリ地震において公的地震保険がどのように保険金支払等への対応を行ったかを説明するとともに、公的地震保険の保険料値上げの動き、カンタベリ地震以降の民間保険会社の動向を紹介しています。

<海外動向その他>

- ◆ 欧州・米国・アジアの金融・保険市場における動向
- ◆ 定期刊行物レビュー（保険、銀行、証券）

購読ご希望の方には、損保総研レポート第98号（A4判76ページ）を実費（税込1,000円＋送料）で頒布します。

当研究所ホームページ（<http://www.sonposoken.or.jp/>）[機関誌・刊行物]の項経由で、お申込みください。

・本件に関するお問い合わせ先
〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
研究部 牛窪 賢一（TEL：03-3255-1761）

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配付しております。

ご 参 考

損保総研レポート第98号 目次

○IAISの保険規制・監督基準の動向について

ー保険グループ規制・監督を中心にしてー
(執筆者 主席研究員 金田 幸二)

《目次》

1. はじめに
2. IAISの活動および組織の概要
3. 国際的な金融規制改革の動きとIAIS等基準設定機関の役割
4. IAISの定める各種保険規制・監督基準と保険コア・プリンシプル(ICP)
5. 保険グループに関する各種保険規制・監督とコムフレーム
6. 金融システム上重要な金融機関(SIFIs)と保険グループ
7. おわりに

○ニュージーランドの地震保険

(執筆者 主任研究員 佐川 果奈英)

《目次》

1. はじめに

2. ニュージーランドの概要
3. 地震保険制度の概要
4. カンタベリー地震における EQC の対応
5. 地震保険税の値上げ
6. カンタベリー地震以降の民間の保険会社の動向
7. おわりに

以 上